

<欧州の左派政治勢力の概要>

■ドイツ左翼党

- 「私たちの目標は具体的だ:どの子どもも貧しく育たず、誰もが平和・尊厳・福祉の中で自分らしく生きられる社会を」などと掲げており、資本主義を代替する「民主的社会主義 (democratic socialism)」の実現を目指すと定義しています。[Encyclopedia Britannica+3](#)[DIE LINKE. English pages+3](#)[Die Linke+3](#)
- 2011年10月に承認された「基本綱領 (Programme of the DIE LINKE)」では、「左派民主主義」「社会主義的・社会民主主義的・共産主義的労働運動の伝統」などを継承すると明記しています。[Die Linke](#)
- 主な政策項目としては、以下のようなものがあります:
 - 働く時間の短縮を通じた雇用の再配分、均等賃金、法定最低賃金の確立。[DIE LINKE. English pages+1](#)
 - 貧困・格差の撲滅、すべての人が生計を立てられる仕事を持つ権利。[DIE LINKE. English pages+1](#)
 - 軍事・安全保障政策において批判的・反軍事主義的な姿勢を保持。[CEPA+1](#)

2. 現在重視して活動していること

近年の活動・重点政策として、次のような点が挙げられます:

- 社会的・経済的格差・住居・賃金・若年層の貧困といった「生活実感」のテーマにフォーカスを変え、若年層からの支持を拡大しています。[Socialist Project+1](#)
- 軍事支出・武器輸出・安全保障政策において、従来よりも明確に「反軍事主義／平和主義」の立場を打ち出しています。[ジャコバン+1](#)
- 政党としての再建・組織基盤の強化を図っており、草の根運動や若い活動家・ネット利用などを活用したキャンペーン手法を積極的に取り入れています。[Tempest+1](#)
- 政治システム・制度的な変革も視野に入れており、例えば巨額の富裕層・大企業への課税強化、社会セーフティネット強化などが政策課題となっています。[DIE WELT+1](#)

■スウェーデン左翼党

綱領・基本方針

1. イデオロギー・キーワード

- 左翼党 (Vänsterpartiet) は「社会主義的 (socialistiskt)」「フェミニスト」「反人種主義 (antirasistiskt)」「生態 (エコ) 基盤 (ekologisk grund)」を掲げています。
[vansterpartiet.se+2The Left+2](https://vansterpartiet.se+2The+Left+2)
- 資本主義・市場主義による「利益追求」が社会の大きな壁 (makt) になっていると捉え、これを乗り越えて「人人が平等に、安心・自由・平等に暮らせる社会」を目指す、という言葉が綱領冒頭にあります。 vansterpartiet.se
- 学校・医療・福祉などの公共サービスを市場競争・営利から切り離し、公共・共同管理を強めるべきという方向性を明確にしています。 vansterpartiet.se
- 欧州連合 (EU) についても、民主的に選択可能な制度でなければ改革すべきという位置づけで、必要に応じて「スウェーデンの EU 離脱 (utträde) も選択肢になりうる」としています。 vansterpartiet.se+1

2. 近年の重視テーマ・活動

- 福祉・所得再分配: 低所得者、年金受給者、子育て世帯などの生活保障強化を重視。 例えば、2025 年予算案では、子育て世帯・年金受給者向けの支援金を繰り出しています。
[Omni+1](https://vansterpartiet.se+1)
- 気候・エネルギー転換: 化石燃料依存からの脱却、鉄道・公共交通の強化、住まいや産業のグリーン転換を掲げています。 vansterpartiet.se+1
- 民営化や営利企業による公共サービス運営への批判: 特に医療・教育・介護など「公的資金・公的サービス」の営利目的運営を止めるべきという立場。 sverigesradio.se+1
- 労働市場・雇用条件: 例えば、労働時間短縮 (30 時間制など) や解雇規制強化など、働く者の権利保護を強く主張しています。 [ウィキペディア+1](https://ja.wikipedia.org+1)
- 外交・平和政策: NATO・欧州防衛共同体・ユーロ採用などに批判的で、非同盟・平和外交を軸にしています。 [ウィキペディア](https://ja.wikipedia.org)

3. 綱領からの抜粋・特徴的な文言

- 綱領冒頭に「人々が自由に、平等に、生きられる社会をつくる」「資本が押し付ける方向から、民主的に皆が意思決定できる構造へ」という言葉があります。 vansterpartiet.se
- また、「学校においては、選択制や市場原理ではなく、生徒の最善を第一に、国が責任を持つべき」と明記しています。 vansterpartiet.se

議席数・自治体議員数・影響力

1. 国会 (Sveriges riksdag) における議席数
 - 2022 年 9 月の総選挙では、Vänsterpartiet が得た 得票率は約 6.75 % で、議席数は 24 議席 (349 議席中) でした。 val.se+1

- Riksdag の公式資料では、2022-2026 期で Vänsterpartiet の議席数が 22 議席と記載している箇所があります。[リクスダゲン](#)
→ この齟齬(24 議席か 22 議席か)は、離党等による議席変動を含む可能性があります。

2. 自治体レベル／地域レベルでの影響力

- 例として、東京都市に相当するスウェーデンの大都市「Stockholm 市(市議会 = kommunfullmäktige)」では、2022 年の選挙で Vänsterpartiet が 16 議席を獲得しています。[スタートストックホルム+1](#)
- また、地域議会(県レベル = region)でも、例として「Region Skåne」においては、Vänsterpartiet が 12 議席・得票率約 7.58%を獲得しています。[ウィキペディア](#)
- ただし、全国的に自治体議員数を合算した明確な最新数値は公表資料で簡単には確認できません。

3. 影響力・立場

- 議席数から見れば、スウェーデン全国レベルでは主要政党(例:社会民主党 S、スウェーデン民主党 SD、穏健党 M)より小規模ですが、一定の影響力を持つ「やや左派」の政党です。
- 過去には、少数政権の支援・信任投票提供(confidence and supply)を通じ、政策協力をしてきた実績があります。[ウィキペディア+1](#)
- 主義・政策が明確なので、特定のテーマ(福祉、労働、気候、反民営化)で存在感を発揮しています。
- ただし、与党経験はなく、政府構成メンバーとして「直接的な行政府運営経験」は限定的です。[ウィキペディア](#)

現在重視して活動していること(直近のフォーカス)

- 生活コスト高・家計支援:インフレ・物価上昇・賃金停滞などに対応するため、子育て世帯・年金受給者支援、住宅支援等を訴えています。[Omni](#)
- 公共サービスの質・アクセス確保:特に医療・教育・介護の民営化・営利化に反対し、公的運営の強化・非営利化を推進しています。[Region Stockholm+1](#)
- 気候・産業転換:グリーン産業育成、鉄道インフラ整備、化石燃料からの移行、住まいや産業の脱炭素化などを戦略的に掲げています。[vansterpartiet.se+1](#)
- 労働時間短縮・労働保護:例えば「30 時間労働制」の導入を唯一議会で明言している政党という報道もあります。[ウィキペディア](#)
- 欧州・国際政策:EU や NATO、ユーロ採用などについて懐疑的な姿勢を取り、国家主権・民主的決定を重視しています。[ウィキペディア](#)

総合的な位置づけ・国内での影響力

- Vänsterpartiet は、スウェーデンの政党の中では「中規模左派政党」として位置付けられます。支持率・議席数は社会民主党(大型)やスウェーデン民主党(右派ポピュリスト)と比べると小さいですが、無視できない存在です。
- 政策的には「左からの改革志向」「公共セクター強化」「民営化反対」「フェミニズム・平等主義」「生態転換」といった軸で明確です。このため、左派ブロック(社会民主党・緑の党など)での協調相手として重要な役割を果たすことがあります。
- しかし、実際に政権の一員として政策決定の中枢に入る機会は限られており、「支援政党」「影響力ある声」という位置が多く、「実権政党」としての体力・実績には課題があります。
- 地方自治体レベルでは、都市部や左派支持が強い地域では比較的強い存在感を持っており、そこを基盤に活動を展開しています。
- 今後の課題としては、支持拡大・地方議席の増加、他左派政党との協調・ブロック形成、さらに「政権参加可能な実力政党」としての準備でしょう。彼ら自身も「2026年の選挙で、左派・緑派ブロックの一員として政権入りを目指す」と明言しています。

vansterpartiet.se+1

■ベルギー労働者党

1. 綱領・活動の重点

綱領・イデオロギー

- PTB-PVDA はマルクス主義・社会主義を掲げる左派／急進左派政党です。 [Progressive International+3](#) [ウィキペディア+3](#) [Frontiers+3](#)
- 1979年に設立されましたが、その前身には1970年代のマオイスト系組織があったとも報じられています。 [Frontiers+1](#)
- 綱領上、「労働者(ワーキングクラス)を基盤にする」「階級的な政治意識(class consciousness)の喚起」「ネオリベラリズム・緊縮政策への反対」「社会保障・福祉の強化」「富裕層・法人への課税強化」などが明記・報じられています。 [ウィキペディア+2](#) [ジャコバン+2](#)
- 気候／環境政策も、単なる環境保護ではなく「社会的不平等」と「気候変動」を結びつけた「社会気候革命(social climate revolution)」という用語で語られています。 [ウィキペディア+1](#)

最近の活動・重点テーマ

- PTB-PVDA は、従来の左派政党が都市の中上層層・環境・リベラル分野に偏っていた側面へのカウンターとして、伝統的な「労働者階級」「地方・工業都市」「フロン地域・ブリュッセル基盤」を重視してきたと評価されています。[ジャコバン+1](#)
- 近年の地方選・地方議会での躍進を背景に、「自治体レベルでの介入・草の根運動・地域密着型の組織化」を強めています。[tribunemag.co.uk+1](#)
- また、2024 年の地方選挙では「地元市町村議会・州議会」で選挙成績を伸ばしたという報道があります。[Peoples Dispatch+1](#)
- 一方で、例えば「低・中所得者支援」「年金引き下げ反対」「社会保障の強化」「賃金上昇」「企業・富裕層への増税」といった具体的な政策要求がしばしば報じられています。[ブリュッセルタイムズ+1](#)

2. 議員数・自治体議員・影響力

国政レベル(連邦議会＝下院＝Chamber of Representatives)

- 2019 年連邦選挙で PTB-PVDA は全国で約 8.6 %の得票、10 議席を獲得しました。[ウィキペディア+2](#) [ジャコバン+2](#)
- 2024 年連邦選挙では、得票率が約 9.86 %、議席数は 15 議席というデータがあります。[ウィキペディア+2](#)[transform-network.net+2](#)
 - ただし議席数の確定・地域別内訳については報道・データ源によって少しばらつきがあります。
- この数値から、PTB-PVDA はベルギー全国において「中規模の野党」であり、左右両極の中で「左側急進派」として確固とした地位を築いてきていると言えます。

地方・州・自治体レベル

- 地方選挙・自治体議会では、2012 年の選挙時点では「31 市議会＋4 州議会＋17 地区議会で 52 議席」という記録があります。[ウィキペディア+1](#)
- 2024 年 10 月の地方選挙では、今回“最も好成績”を更新したという報道があります。[Peoples Dispatch](#)
- また、複数の州・県・都市で得票率 2 桁台を記録するなど、地域的に影響力を強めています(例:フロン地域、ブリュッセル大都市圏) [ウィキペディア+1](#)

影響力・位置づけ

- PTB-PVDA は「ベルギー全土(フラムス・フロン・ブリュッセル)を対象に活動する数少ない全国政党」のひとつです。[ウィキペディア+1](#)
- 近年、従来の中道左派(例:社会党)などから支持を奪う傾向が見られ、特にフロン地域などでは「社会党を上回る支持率」と報じられたこともあります。[ジャコバン+1](#)

- ただし、政府参与＝与党経験はまだまだなく、影響力という意味では「野党の躍進政党」「政策提案・世論喚起力を持つ政党」だと言えます。
- さらに『ポピュリスト左派 (left-wing radical/populist radical)』の文脈でも語られており、「既存の政治構造を打破する」「伝統的政党・エリートに対抗する」色彩も強いと分析されています。 [ポピュリズム研究所+1](#)

■デンマーク社会主義人民党SF

基本情報

- 英語名／略称: Red-Green Alliance (Denmark) / Enhedslisten (略: EL) [Clean Energy Wire+3](#) [ウィキペディア+3](#) [Enhedslisten.EU+3](#)
- 結成: 1989 年、3 つの左派政党 (左社会主義党、デンマーク共産党、社会主義労働者党) 及び無所属社会主義者らの合流によって。 [Enhedslisten.EU+1](#)
- イデオロギー: エコ社会主義、反・新自由主義、社会主義的転換志向。 [ウィキペディア+2](#) [OUP Academic+2](#)
-

政策上の重点・現在の活動テーマ

赤緑連合が現在、特に強調している政策・テーマを以下に整理します。

1. 福祉国家・社会的平等
 - 市場・利益が優先されるべきではなく、「人／環境」が優先されるべきという立場を明確にしています。 [Enhedslisten.EU+1](#)
 - 社会的な平等を中心に据えた社会構築を目指し、国家・経済における民主的統制を強めることを訴えています。 [dipd.dk](#)
2. 環境・気候・持続可能性
 - 環境問題・地球規模の問題を、社会変革と結びつけて扱っています。 [Enhedslisten.EU+1](#)
 - 特に、気候変動・生物多様性・持続可能な生産・消費の枠組みの転換を掲げています。 [links.org.au](#)
3. 反・新自由主義／グローバリゼーション批判
 - 企業主導のグローバリゼーション、民営化、公共部門の縮小などに対して明確に反対の立場をとっています。 [dipd.dk+1](#)
 - EU や欧州統合についても、市場重視・労働者／環境軽視の方向への懸念を表明しています。 [Enhedslisten.EU](#)
4. 安全保障・防衛・災害対応などの新たな視点
 - 最近の政策議論として、「防衛・安全保障」政策の中で軍事だけでなく、気候変動・サイバー攻撃・水・エネルギー供給等も含めた“市民防衛／レジリエンス”を強化すべきという立場を採っています。 [europe-solidaire.org](#)
5. 公共調達・自治体・地域からの変革

- 公共調達法の改正を通じて、地方自治体・公共部門が契約時に労働協約 (collective agreements) を要求できるようにすることを訴えています。
links.org.au
- また、地域・都市レベルでの「変化を下から起こす」ことを重視しています。
Enhedslisten.EU

議席・議員数・影響力

- 国会 (Folketinget = デンマーク議会) においては、2019 年の総選挙で約 6.9 % の得票を獲得し、13 議席を得たという情報があります。Enhedslisten.EU
- 表記上、ウェブ上には「13 議席」などの記載が確認されています。[Clean Energy Wire](https://CleanEnergyWire.com)+1
- 地方議会・自治体レベルでも広く存在しており、全国 98 の自治体 (municipalities) 中 69 自治体で議席を有しているとの記載があります。Enhedslisten.EU
- 市議会・州 (Region) レベルでも議席を持っています。たとえば、2025 年版ウィキペディアのローカル選挙データによれば、市町村レベルで 114 議席を得ている (2025 時点) という数字も出ています。[ウィキペディア](https://ja.wikipedia.org)

影響力について

- 都市部 (特に首都圏・都市市議会) において、同党は有力なポジションを獲得しています。たとえば、2021 年 11 月のコペンハーゲン市議会選挙では、この党が得票率 24.6 % を記録し、首都において最大の政党となったという記録があります。[ジャコバン](https://ja.wikipedia.org)
- このように、都市・自治体レベルの政策決定において、「住宅」「気候」「インフラ」などをめぐる実質的な影響力を増しているという評価があります。[ジャコバン](https://ja.wikipedia.org)+1
- ただし、国政レベルで政権を担っているわけではなく、影響力は「与党として主導」ではなく「影響を与える野党／協力政党」的な位置付けが中心です。アカデミックな分析では、「革命的」といった性格からより「選挙適応型／戦略的転換」へと変化してきたという指摘もあります。[OUP Academic](https://OUPAcademic.com)+1

■ 不服従のフランス

綱領・政策スタンス

- LFI はその旗印プログラムとして L'Avenir en commun (「共通の未来」) を掲げました。[ウィキペディア](https://ja.wikipedia.org)+1
- このプログラムでは、次のような柱があります：公共サービスの拡充、富の再分配、エコ社会主義 (= 成長の捉え直し、環境制約の考慮)、民主的改革 (参加型民主主義や立憲改革)、欧州連合・グローバル化・金融資本主義への批判的立場など。internationalviewpoint.org+1
- 欧州・国際面でも、LFI は「反ネオリベラルな欧州」「社会・税・環境のヨーロッパ的調和」を主張しています。例えば「社会・税制・環境の上方調和」「労働者の競争を防止する」「欧州内の労働・社会権の非後退条項を入れる」など。[ウィキペディア](https://ja.wikipedia.org)+1

現在重視している活動・戦略的フォーカス

- 最近の報道では、LFI は 2026 年の地方(市町村／自治体)選挙(municipales 2026)に向けて準備を強化しており、「地区(quartiers populaires＝社会経済的に脆弱な地域)」「若年層」「移民背景・マイノリティ居住地域」の動員を重視しています。 [Le Monde.fr+1](#)
- また、LFI は「既存の左右伝統政党」との違いを打ち出し、既存体制(“エリート”／“既得権”) vs “人民(le peuple)”という構図を用いたポピュリスト的な戦術も続けています。 [ResearchGate+1](#)
- 加えて、LFI は「経済的不公平・金融資本主義の批判」「環境危機への強い対応」「公共サービスの再強化(特に脱成長的／再生可能的立場を含む)」という軸も維持しています。例えば「成長第一」からの転換、「富裕層・資本への課税強化」「社会保障財源の再構築」などが政策上見られます。
- メディア分析では、LFI は「安定した階級基盤(特に若年・都市貧困層)」「反エリート・反既得利益」「エコ・社会正義」への訴求が続いており、また「既存左派との軋轢」も指摘されています。 [internationalviewpoint.org+1](#)

国会議員・自治体議員数・影響力

- 国政(下院＝Assemblée Nationale)での議席数について:[2022 年立法選挙](#)後、LFI 所属議員グループは約 **75 議席**を確保。 [ウィキペディア+1](#)
- ただし、2024 年の早期立法選挙(または議席再構成)ではこの数字が**若干減少し、71 議席近く**ともされます。 [ウィキペディア](#)
- 地方自治体レベルでの浸透については、LFI の **市長ポスト・自治体議会支配** の事例はまだ少ないという指摘があります。例えば、2020 年の市町村選挙では「LFI 単独」の勝利例は限定的。 [ウィキペディア](#) また、2025 年のヴィルヌーヴ＝サン＝ジョルジュでの補欠市長選では LFI が先頭に立ったものの最終的に敗北した、という記事もあります。 [Le Monde.fr](#)
- 影響力面では、左派全体の中で「動きのある新勢力」としての存在感を持っています。2024 年の議会選挙では左派連合(Nouveau Front populaire＝NFP)により**多数議席を確保した中で、LFI もその中心メンバーの一つ**として機能しました。 [Le Monde.fr+1](#)
- ただし、専門家からは「構造的にはまだ伝統的政党(PS, ÉLV)や社会保障運動基盤に比べて弱い」「地方実績(市町村運営)の蓄積が少ない」「内部民主性・運営構造に課題がある」といった分析も出ています。 [anticapitalistresistance.org](#)

■Your Party

●「Your Party」(仮称)が 11 月に創設カンファレンスを迎えようとしている中で、設立に向けて「党の理念／運営方針」を示す文書(設立文書・憲章・規約案)が提示されています。以下、報道等から明らかになっているその **主な内容・構成・特徴** を整理します。

主な内容・構成

この設立文書には、おおよそ次のような要素が含まれています。

1. 目的・使命(理念)

- 「富と権力の再分配(mass redistribution of wealth and power)」を掲げ、既存の主流政党(特に Labour Party)を左から刷新することを目指しています。[ガーディアン](#)+2[The Independent](#)+2
- 公的サービスの再公有化・拡充、社会住宅・医療・教育などの公共インフラ強化を重視。[ガーディアン](#)+2 [アイプソス](#)+2
- グローバル／外交政策においても、例えば対イスラエル軍備売却の批判、パレスチナ支援姿勢などが明記されており、従来の政党に対して「エスタブリッシュメント／軍産複合体」への抗議色が強い。[ウィキペディア](#)+1
- 党宣言・スローガンとして「This is a new kind of political party – one that belongs to you(“あなたの党”)」、「声ある社会を／みんなによる民主主義を」など、草の根参加・会員主導というイメージを前面に出しています。[The Independent](#)+1

2. 組織・運営方針

- 「一人一票(one-member, one-vote)」原則、会員によるリーダー選挙・役員選挙を実施する案が提示されています。[ウィキペディア](#)+1
- 21 カ月までというリーダー任期の暫定案、16 名の委員および 2 名の議員枠を含む実行委員会という構成案も見えています。[ガーディアン](#)+1
- 設立カンファレンス(11 月末予定)を通じて、13,000 人規模の会員抽選参加で文書(憲章・規約案)を「議論・修正・採択」するプロセスを想定。[ガーディアン](#)
- 地域・性別・背景のバランス確保を狙った代表抽選(“sortition”)を用いる案も言及されています。[ウィキペディア](#)+1

3. 政策方向・原則

- 公共医療(特に National Health Service の完全公共化)や、租税強化(特に富裕層／企業への課税)、家賃統制／住宅政策拡大などが、支持を集める主要提案として挙げられています。[アイプソス](#)
- 環境・気候変動対策、抗議権・市民参加の促進、反戦・軍需輸出反対なども理念的に含まれており、単なる「左派野党」ではなく運動型・草の根型の政党像を目指しています。[ウィキペディア](#)+1

4. 内部民主主義・会員参加

- 会員が政策決定や組織運営に強く関与できるよう、「会員が文書を議論し修正できる」「議員・役員を召喚(recall)できる制度案」などが浮上しています。[ウィキペディア](#)+1
- また、設立過程自体を「運動から政党へ」の移行として示し、既存政党が欠いていた「草の根政治」「横からの参加」の仕組みを強調しています。

特筆すべきポイント／争点

この文書・プロセスにおいて、メディア報道で指摘されている重要な論点・争点を挙げておきます。

- **党名の未確定**:当初「Your Party」という暫定名で発表されましたが、最終的な正式名称は会員投票によって決定される予定です。 [ウィキペディア](#)
- **共同代表 vs 単一代表**:発起人である Jeremy Corbyn 氏と Zarah Sultana 氏の間で、リーダーシップの在り方(共同代表制／単一代表制)を巡る対立が発生しており、文書案にも「まず単一リーダーを選ぶ」という案が盛り込まれている模様です。 [ガーディアン](#)⁺¹
- **性別／背景・バランス問題**:運営執行グループ(ワーキンググループ)に女性や少数派の参加が不足しているという批判が出ており、文書案には「参加の平等」「背景や地域の多様性」の確保を掲げる必要性が論じられています。 [ウィキペディア](#)⁺¹
- **トランス権利・社会保守派の扱い**:設立準備中に、トランスジェンダーの権利を巡る内部対立が報じられており、文書でもこの種の「社会的価値観・文化的権利」の扱いが焦点となっています。 [ウィキペディア](#)⁺¹
- **既存運動との関係・戦略**:「すぐに政党組織を作るべき」「むしろ複数運動を束ねる連盟型／連合型にすべき」という内部対立があり、文書案には「政党化のスピード」「運動と政党の関係性」についての選択肢も提示されています。 [ウィキペディア](#)⁺¹

文書の役割・位置づけ

この設立文書(憲章・規約案)は、Your Party において以下のような役割を果たしています:

- 参加希望者・会員に対して「この党が何を目指し、どう運営するか」を明示し、支持・加入を促す宣言的役割。
- 11月の設立カンファレンスにおいて、会員による議論・修正・採決をする「基礎資料」。つまり、これが「設計図」になっており、設立段階での意思決定を具体化するもの。
- 外部(メディア・有権者・他政党)に対してこの新党の方向性を示す「信頼／透明性」の装置。特に「草の根参加」「民主的運営」を打ち出す点で、従来の政党と差別化を狙っています。
- 組織運営上、**会員主導・多様性確保・リーダー任期制・会員参加制**という“新モデル”政党を目指すための制度的枠組みを定めるもの。
-
- 文書案の内容が、複数のメディアで「ドラフト憲章案」や「構成案」として紹介されています。例として、Jeremy Corbyn 氏と Zarah Sultana 氏が率いるこの新党が、会員による「one-member, one-vote」制を導入し、16名を会員が直接選出、2名を議員枠にあてて中央執行委員会(CEC)を構築する案を示している旨が報じられています。 [ガーディアン](#)⁺¹

- また、この文書案はオンライン上で会員からの修正案の提出を募る「デジタル民主主義プロセス」を導入しており、11 月の設立会議（創立カンファレンス）で抽選参加の会員による議論・採択を予定しているという報道があります。[ガーディアン+1](#)
- ただし、これらは「案」レベルの内容紹介であり、全文としてダウンロード可能／公表されている公式 PDF などの形では確認できていません。

■ノルウェー赤党

●Rødt（ノルウェー赤党）について

綱領・重視している活動

「Rødt（赤党）」は、ノルウェーで 2007 年 3 月に Rød Valgallianse（赤選挙同盟）と Arbeidernes kommunistparti（労働者共産党）との合併により発足。[roedt.no+3 ウィキペディア+3DBpedia Association+3](#)

党の基本的な立場・重視点は以下の通りです：

- 階級社会の廃止、資本主義を社会主義に転換することを最終目標に掲げる。[ウィキペディア+1](#)
- 経済的・社会的な格差（“forskjells-Norge”／格差ノルウェー）に対して強い批判。[roedt.no+2 ジャコバン+2](#)
- 労働者の権利強化、公共部門の拡充、富裕層や大企業への課税強化、利潤追求型の福祉事業の撤廃など。[ジャコバン+2roedt.no+2](#)
- 公的サービス（例えば、歯科保健サービス）の無料化など、社会保障・福祉の強化を旗印。[roedt.no+1](#)
- 国家資源（電力など）や重要産業の民主的・国家的コントロールを主張。[roedt.no](#)
- 国際政策として、例えばロシアによるウクライナ侵攻には明確に反対し、国際法・戦争犯罪に関与する体制を強化すべきとする立場も明示。[links.org.au](#)

また、最近の党ウェブサイトでは「格差ノルウェー」との闘いを「最も重要な闘い」（“den aller viktigste”）と位置づけています。[roedt.no](#)

重視している活動・最近の展開としては：

- 福祉・公共サービスの改善：人員不足、サービスの質低下に対する批判を強めています。[VG](#)
- 歯科保健の改革（「歯科医に行くことがかかるなら、かかりつけ医と同じ料金にすべきだ」という主張を掲げています。[roedt.no+1](#)

- 気候・産業政策において、単に「石油・ガスをやめる」というだけでなく、「公正な(just)移行」を掲げ、雇用を守りつつグリーン産業をつくるという視点を持っています。[ジャコビン](#)
- 欧州連合(EU)および欧州経済領域(EEA)との関係、国家の独立性・主権を意識した政策展開をしています。[ウィキペディア+1](#)

国会議員・自治体議員数・影響力

- ノルウェー議会(Stortinget)は 169 議席。[ウィキペディア+1](#)
- 最新情報によると、Rødt は 9 議席を有しています。[Stortinget+1](#)
- また、地方議会・自治体レベルでも一定の議員数を確保しており、例えば過去データでは「県議(county council) 20 名」「市町村議(municipal representatives) 193 名」とされていました。[ウィキペディア](#)
- 世論調査では、支持率が 5〜7%台で推移しており、左派ブロックの一角としての存在感を増しています。例えば最近の調査では約 6.9%。[PolitPro - Politik, News & Wahlrends+1](#)

国内での影響力・位置づけ

- Rødt は、従来ノルウェー政治で中心的だった社会民主主義(Arbeiderpartiet;労働党)に対して、より左側・ラディカルな立場から挑戦してきた政党です。[ジャコバン+1](#)
- 議会内・外で「他党に対して政策を押し付ける」あるいは「影響力をもつことが可能な」存在として報じられています。たとえば、2021 年選挙の際には「キングメーカー(決定的な協力者)にはならなかったが、政府が右寄りに傾かないよう牽制できるポジションを得た」との分析があります。[ジャコバン](#)
- また、社会運動・労働運動など草の根レベルでの支持・活動にも力を入れており、「議席数だけではない影響力」を強調しています。[ジャコバン](#)
- ただし、トップ政党というわけではないため、単独で政権を握るには至っておらず、政策実現には他党との協働や交渉が必要な立場にあります。
- 地方自治体レベルでも議席を増やしており、地方政治においても影響力を徐々に拡大しています。

総括

Rødt は、ノルウェーの政治スペクトルの中では「左端・ラディカル左派」に位置づけられる政党であり、経済的・社会的な格差是正、公共サービス強化、資本主義体制への批判と社会主義的ビジョンを持っています。議会・自治体で一定の議席を確保しており、世論的にも支持を伸ばしてきており、他党との連携・協議を通じて政策に影響を及ぼす力を持っています。